

長島一由プロフィール▶(完全無所属・55歳)元逗子市長(3期)

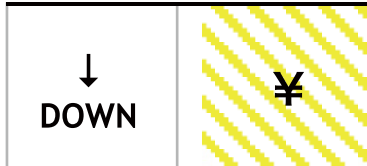
元衆議院議員(1期)/元フジテレビ報道記者/元リクルートWorks編集長

映画監督(2016年ハワイ国際映画祭入選)/早大卒/東大院修了

趣味▶ウインドサーフィン(1988年全日本1位、1996年世界3位入賞)

家族▶妻・長女・次女の4人

「長島一由 逗子発 2030 政策シナリオ」税金の無駄を徹底全廃▶逗子市の未来に投資



経営改革
競争性改善
透明性向上
行政のDX化
人事改革
etc

支出
(歳出)

子育て・教育
福祉に重点投資

救急病院誘致
国保料圧縮
給食無償化
津波対策強化
渋滞解消
etc



(逗子発 2030 政策シナリオ詳細)

追加政策

しがらみのない政治

全国初の市長の政治献金自粛条例の制定
市長専決処分による議員定数1削減

交通政策・治安防犯

高齢者の免許返納者への福祉バス路線拡充
まちの防犯カメラ設置の倍増(29→58カ所)

経済対策

年間2.1億円と出遅れたふるさと納税
返礼品にマリンレジャー拡充による赤字解消

追加子育て支援策

認可外保育との差額助成制度の創設
小児医療費の完全無償化

数字やエビデンスに基づく現市長との対比

(データは令和4年10月11日現在のもの)

長島一由 市政
(元逗子市長/元衆議院議員)

桐ヶ谷覚 市政
(現逗子市長)

年齢	55歳	73歳
政治とお金	献金ゼロ、全国初の市長献金自粛条例制定へ	これからも献金は受けると答弁(本会議9月28日) 市の利害関係者から政治献金
情報公開	逗子市を4年で透明度ランキング全国1位 (日経調べ、2002年)	市の利害関係者の特定可能な 資料を隠べい(6月8日市長指示)
入札改革	公共工事の平均落札比率79.0%(平成18年) 8年間の入札差金は60億円以上	公共工事の平均落札比率96.2%(令和3年) 適正価格を崩すべきではない等と答弁(9月6日本会議)



※R.3の公共工事費約18億円に対し、長島 VS 桐ヶ谷の平均落札比率の差17.2%から生じる入札差金は年間約3億円の推計になる。その額だけで学校給食費(約2億円)小児医療費の完全無償化(約1億円)に必要な財源額となる。他にも多数の改革を予定。

学校給食費	完全無償化へ	月額平均約5,150円
小児医療費	完全無償化へ	来年度より16~18歳も対象とすることを予定 ただし、所得制限あり(標準世帯年収646万円以下)
保育料	過去の在任中8年間、値上げゼロ	(年収約1400万円以上世帯では33,490円値上げ) 月額平均値上げ13,069円
国保料	過去の在任中8年間、値上げゼロ 今後、年収500万円以下検診受診者への値下げ策	年額42,700円値上げ (8.4%値上げ、夫婦40~64歳+子1人の3人世帯・世帯収入600万円)
下水道料金	過去の在任中8年間で、年額3,566円値上げ (20㎡使用世帯で平均10.07%値上げ)	年額4,250円値上げ (20㎡使用世帯で19.75%値上げ)
大型公共事業	借金を12.9億円減らしながら、 文化教育ゾーン(約67億円)を建設した。	浄水センター工事に約300億円投資見込み 都市計画税1世帯あたり10,348円値上げ想定
開発規制	現行まちづくり条例を制定(平成14年) 津波対策強化のため、海岸地区の高さ緩和検討	市街地中心部の高さ規制の緩和も検討